

日々の祈り

2023年1月23日(月)～28日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

主日礼拝の説教では『ハイデルベルク信仰問答』(吉田隆訳／新教出版社)が用いられています。その週に示された問いと答えを毎日声に出して読んでみましょう。また、その問答の根拠となった聖書の御言葉を曜日ごとに載せていますので、御言葉を読んで深く思い巡らしつつ、祈りの時を持ちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・求道者の方々が信仰を与えられるように。
- ・世界の戦争や暴力、貧困で苦しんでいる人々のために。特に小さくされている人々を覚えて。
- ・一週間、全国の教会のそれぞれの祈りの課題と、伝道の働きを覚えて祈りましょう。

問答を毎日声に出して読んでみましょう。

また、問答に関連するその日の聖書の御言葉を味わいましょう。

『ハイデルベルク信仰問答』(新教出版社／吉田隆訳)
第二部 子なる神について 第14主日

問35 「主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ」とは、
どういう意味ですか。

答 永遠の神の御子、
すなわち、まことの永遠の神であり
またあり続けるお方が、
聖霊の働きによって、
処女マリヤの肉と血とから
まことの人間性をお取りになった、ということです。
それは、御自身もまたダビデのまことの子孫となり、
罪を別にしては
すべての点で兄弟たちと同じようになるためでした。

問36 キリストの聖なる受胎と誕生によって、
あなたがたはどのような益を受けますか。

答 この方がわたしたちの仲保者であられ、
御自身の無罪性と完全なきよさとによって、
罪のうちにはられたわたしのその罪を
神の御顔の前で覆ってくださる、
ということです。

23 日(月) 昨日の主日礼拝の御言葉

ヘブライ人への手紙 2 章 18 節

事実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることがおできになるのです。

「それは、御自身もまたダビデのまことの子孫となり、罪を別にしてはすべての点で兄弟たちと同じようになるためでした。」

イエスさまは、わたしたちと同じまことの人となられたので、わたしたちが受ける試練の苦しみも、あらゆる弱さや困難も、すべて身をもってご存知でいて下さるのです。この方が共にいて、苦しみにあるわたしたちを助けてくださいます。

24 日(火)

ヨハネの手紙一 5 章 20 節

神の子が来て、真実な方を知る力を与えてくださいました。わたしたちは真実な方の内に、その御子イエス・キリストの内に入っています。この方こそ、真実の神、永遠の命です。

「永遠の神の御子、すなわち、まことの永遠の神であり、またあり続けるお方」

神の独り子イエスさまは、まことの神であります。まことの神でなければ、わたしたちのために義と命を獲得し (問 17)、与えて下さることは出来ません。

25 日(水) ヘブライ人への手紙 2 章 14~15 節

ところで、子らは血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした。

「聖霊の働きによって、処女マリヤの肉と血とから、まことの人間性をお取りになった」

神の独り子イエスさまは、肉と血をとり、まことの人間となって、わたしたち人間の罪を代わりに担い、わたしたちを罪と死の奴隷から解放して下さったのです。

26 日(木)

フィリピの信徒への手紙 2 章 6~8 節

キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。

「この方がわたしたちの仲保者であられ、御自身の無罪性と完全なきよさとによって、罪のうちにはらまれたわたしのその罪を神の御顔の前で覆ってくださる」

わたしたちのために、神の身分を捨ててまことの人となり、罪を犯さず最後まで神さまに従順に従い抜かれたのは、ただこのキリストお一人だけです。

27 日(金)

テモテへの手紙一 2 章 5 節

神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。

「キリストの聖なる受胎と誕生によって、あなたがたはどのような益を受けますか。」「答 この方がわたしたちの仲保者であられ、御自身の無罪性と完全なきよさとによって、罪のうちにはらまれたわたしのその罪を神の御顔の前で覆ってくださる、ということです。」

28 日(土) 明日の主日礼拝の御言葉

ペトロの手紙一 2 章 24 節

そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きるようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。

イエスさまの苦しみは、本来はわたしたちが自分の罪のために裁かれ、負わされるべき苦しみでした。しかしそれをイエスさまはすべてご自分の上に引き受けて下さったのです。

聖句:日本聖書協会『聖書 新共同訳』